

令和4年 第3回

愛西市立小中学校  
適正規模等並びに老朽化対策検討協議会

令和4年 第3回

愛西市立小中学校

適正規模等並びに老朽化対策検討協議会

会議録

開会日時 令和4年8月18日(木) 午後2時00分  
閉会日時 令和4年8月18日(木) 午後4時00分  
場 所 愛西市文化会館 3階 第2会議室

■出席委員

会 長  
副 会 長  
委 員  
委 員  
委 員  
委 員  
委 員  
委 員  
委 員  
委 員  
委 員  
委 員  
委 員  
委 員  
委 員  
委 員  
委 員  
委 員  
委 員  
委 員

岩崎恭典  
水谷瀧男  
青山道男  
高見是久  
水谷正照  
三輪田日出夫  
中野俊郎  
伊藤 悟  
諏訪淑子  
吉次章浩  
前田健治  
井上貴晶  
高橋和希  
浅井敏幸  
浅野忠勝  
下里 亘  
中野利哉  
富山美奈子  
伊藤基成

※リモート機器不良  
により途中まで参加

■欠席委員

委 員

里村昌史

■事務局	教育長	平尾 理
	教育部長	三輪進一郎
	教育部次長	小島洋志
	学校教育課長	猪飼政和
	学校教育課主幹	吉田光男
	学校教育課課長補佐	坪井靖史
	学校教育課主事	伊藤尚記

■市長部局	市民協働部市民協働課長	丹羽久美
	企画政策部危機管理課	
	課長補佐	中井久美子

■傍聴者 5名

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 前回会議までの課題

(2) 学校規模適正化・適正配置について

(3) その他

4 閉会

<p>(事務局)</p>	<p>1. 開会 開会宣言</p>
<p>(教育長)</p>	<p>2. あいさつ</p> <p>本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。前回は、適正化を考えていく前段階として、施設の老朽化や防災拠点や地域コミュニティにかかわる学校の存在意義について、限られた時間ではありましたがご意見を伺うことができました。今後、学校統合、再編を考える際に多くの課題を市民全体で歩み寄り、協力して取り組んでいかなければならないと改めて認識いたしました。本日は、老朽化の状況や地域における学校の存在意義を念頭において、子どもたちの発達段階に応じた教育環境の整備や、学びや育ちという教育をテーマにさせていただきたいと思います。そして具体策を協議いただいて、方向性を示していただきますようお願い申し上げます。</p> <p>少子化は、市全体の問題でもあります。委員の皆様方におかれましては、将来の6つの中学校がどうあるべきかを長期的な視野に立って認識を共有していただいた上で、現状における小規模中学校の課題解消を優先的に着手するべきということ、3月の検証委員会の提言でもいただいておりますので、これに則り、方向性を具体化させていただきたいと思います。なお、小学校の在り方については、中学校の方向付けと関連が深いですが、まずは中学校を方向付けいただいた上で、ご協議いただければと思います。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>では、岩崎会長よりご挨拶をいただいた後、議事の進行をお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>(会長)</p>	<p>本日もよろしく申し上げます。コロナ禍の中、夏祭りを今年はやりたい。やらないと伝承が途切れてしまうということでした。私共の大学の学生と一緒に連れていきました。そこで学生は、なぜお祭りを地域の人には一生懸命にやるのだろうか、お祭りの意味はなんだろうかを実際にお祭りに参加して学んでもらおうと思いました。その結果、学生はお祭りを見るものでしかなかった。参加するという経験がものすごく大きなもので、地域にどうかかわっていったらいいかを学ぶ大きな体験学習の一つであろうと思っています。現地の方に聞くとコロナで2年間できず、技術の伝承が途絶えてしまう、65歳からの2年間で体にもガタがきているが頑張っているということでした。次の世代に我々は、何ができるのかということは、いつも考えていたいなと思いました。</p>

	<p>本日は、中学校をどういう風にしていくべきか、何年後にどんな形の中学校を形成していくかを、現在必ず先が読める、地域に住んでいる子どもたちの数を中心に考えていく。そのあと小学校についても考えていくというのが、我々現役世代の大きな役割であると思っています。次に教育を受ける子どもたち、今愛西市で生まれている子どもたちのために、どういった中学校、小学校の教育を受けて、一旦愛西市を離れたとしても愛西市に戻って、もう一度子育てしたいと思ってもらえるような教育体制を作り上げていくことが大きな役割だと思います。そのために限られた時間ではありますが、協議していきたいと思っています。</p> <p>前回、詳細な資料をいただいておりますので、その資料に基づいて中学校の方向性について決められればと思います。この回で合意が取ればいいなと思います。</p> <p>では、議事に入っていきますが、まずは、第1回目の議事録について事務局より事前に修正等がありますでしょうか。</p>
(事務局)	第1回議事録の修正箇所説明
(会長)	修正等のご意見はありますでしょうか。なければ、承認とさせていただきます。
(委員)	《異議なし》
(会長)	では、第1回目の議事録は、承認とさせていただきます。
	<p>3. 議事</p> <p>では、(1) 前回会議までの課題について資料の説明をお願いします。</p>
(事務局)	資料1について説明
(会長)	委員の皆様ご意見等ありますでしょうか。
(委員)	<p>市街化調整区域は、県の管轄なので愛西市としても市街化区域にするのは難しいと思います。しかし、地区計画を県と相談しながら決定ができるはずですので、うまく利用させていただきたいと思います。愛西市の南河田町でも市街化調整区域で、基本的には工場が建てられないけれども、地区計画によってかなり大きな工場ができるようになっていきます。</p>

<p>(会長)</p>	<p>また、三重県の亀山市が企業を誘致したことによって、1万人以上の人口を増加することができた例があります。弥富インター周辺に愛西市も倉庫がたくさん建っていますが、倉庫は市の収入にはあまりならなくて、工場を誘致すれば、機械にも課税されますので、税金も取れます。小中学校の跡地利用でそういった考えもあると思います。</p> <p>現状では、なかなか住宅地として整備するのは難しいことでもあります。他に委員の皆様ご意見等ありますでしょうか。</p> <p>委員から亀山市の事例がでていましたが、亀山市の場合は、地元の自治体と県の両方が補助金をだしております。県の権限で都市計画区域を、工場を建ててよい区域として規制緩和をして、企業を誘致し、人口が増えました。しかし、企業自体が傾いて工場を台湾へ移して、また最近、日本へ買い戻すことになっています。そのたびに、工場誘致で助成金をだしたり、引っ込めたりしている状態です。現在は、人口が若干減少し始めています。また、従業員に外国の方が多く、学校教育の現場でもそれによる課題が数多く発生している状態です。これは、亀山市に限ったことではなく、工場を多く抱えている四日市や鈴鹿市でも言えることでもあります。財源や人口に関しては潤うけれども、学校教育に関しては、課題解決のための支出が増えているということもあります。</p> <p>他にご意見等ありますでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>都市計画図を見て、人口がなぜ減少していくのかが一目瞭然で、原因は家が建たないからです。この畑や田んぼばかりの立田、八開地区を市街化調整区域から市街化区域にしようとした試みはあったのでしょうか。もう住む方も見えなく、崩壊しているところもあるので、農地を守る必要がないところもたくさんあるのではないかと思います。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>愛西市としても行っていないと聞いております。</p>
<p>(委員)</p>	<p>学校を統合する話を聞いたときに一番嫌だったのが、なにもせずに人口が減少していくのを見ていて、減少したから学校を減らしますと言われたことです。努力して、どうしようもなくなって、統合ということではなかったのが、モヤモヤしました。今の話を聞いて、可能性のない地域というのはわかりましたが、可能性がないから、なにもしないということだと、死んでいく地域になってしまいます。</p>

<p>(事務局)</p>	<p>愛西市は、市街化区域でも空き家が増えていますので、市街化調整区域が市街化区域となったとしても、はたして人口が増えるかどうか疑問であると思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>ずっと悪循環になる気がします。見込みがないからできないとなると、これからも人口が減少してしまいます。住んでみると、弥富インターもあるし、岐阜羽島のインターもありますし、橋もあります。全然悪い場所ではないと考えていますので、もう少し人を増やす方向でお願いしたいと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>人が増えれば、それに越したことはないと思います。しかし、日本全体で人口が減少している中で、愛西市の八開地区だけが人口が増加する見込みがないという現状があります。前回の資料 5 の未就学児児童の数を見ると、1 歳、2 歳というのは確定しています。外から転入してこない限り、開治小とかは、1 歳児が 9 人という状況です。この子どもたちが学校教育を受けるときになった場合に 1 学年 9 人で維持していくのが、本当に大丈夫なのかというような議論をここではしないといけなと思います。</p> <p>確かに人口を増やすという方法は、愛西市全体として考えなくてはいいませんが、住むことができる地域が現状の市街化区域のところ未利用地や空き家が多いという点があるので、そこを優先して考える必要があると思います。市街化区域を充実させて、市街化調整区域を市街化区域にしていこうというのが順序のような気がします。</p>
<p>(委員)</p>	<p>この件については、この会議で検討する内容ではないと思います。人口を増やすお願いはしないといけなと思いますが、人口を増やすためにどうするのかを実際に決めるのはこの協議会の主の目的ではないと思います。</p> <p>永和地区は、関西線、近鉄線や国道 1 号線もあります。名古屋駅までも 20 分かからず行けるわけです。リニアがくれば、東京も通勤圏になる可能性があります。発展している長久手市や日進市よりも地理的にはよいはずですが。それを含めて永和地区でなんとかしよう地域で協議会をもってあります。愛西市にも働きかけたこともあります。</p> <p>しかし、この協議会では、子どもたちの教育をどうしていくかの原点に帰って話し合いをすることが大事だと思います。そちらにあまり時間をかけない方がよいと思います。</p>

(委員)	同様の意見です。
(会長)	<p>ありがとうございます。それでは人口増加については、別途検討していただき、ここでは、中学校の在り方を検討していこうと思います。</p> <p>次に中高一貫校の設立の件であります。資料 2 について事務局より説明をお願いします。</p>
(事務局)	資料 2 について説明
(会長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>委員の皆様ご意見等ありますでしょうか。</p>
(委員)	<p>この資料を見ると、24、25 名の子どもが中高一貫校の方へ進学する可能性が見えると思います。県内だと滝中学校や三重の津田学園や暁中学校の方に進学する子どもたちもいると思いますので、30～40 人程市外へ行くことが予想されると思います。</p>
(会長)	<p>1 クラス分だと思います。1 クラス分が毎年となると影響が大きいと思います。</p> <p>他にご意見等ありますでしょうか。</p>
(委員)	《意見なし》
(会長)	<p>それでは、前回の資料をさらに議論を進めて、(2) 学校規模適正化・適正配置についての統合案を決めていこうと思います。資料 3-1、3-2、3-3 について議論していきたいと思います。事務局より簡単に振り返りの説明をお願いします。</p>
(事務局)	<p>第 2 回協議会資料 3-1、3-2、3-3 について説明</p> <p>委員の方よりこの資料に関して前もって意見もいただいておりますので、ご紹介させていただきます。</p> <p>・将来の人口予測だけで統合を考えるのではなく、学校施設の老朽化状況、地域行事や防災拠点としての位置付けなどを統合して検討する必要があるのではないか</p>



(会長)	<p>こちらは、前回の会議でも協議いただいているとおり、学校施設の老朽化状況、地域行事や防災拠点としての位置付けなどは、検討していかねばならない要因の一つとして考え、中学校の適正規模、適正配置を検討した上、状況に合わせて検討を進めていくということで承認をいただいたと思っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立田中と八開中の統合は、過小規模となるのではありません</li> <li>・パブリックコメントの回答について、教育委員会管轄以外の回答は、所管の部局から回答を得た上、検討協議会で協議したらどうか</li> <li>・地域利用や防災拠点の実態を把握してほしい</li> <li>・老朽化を確認するために現地視察をし、状況を共有化したい</li> <li>・今回検討する以前の基本計画の提案等の情報を協議会委員で共有化したい</li> <li>・再度スケジュールを見直して、適正な開催スケジュールを決定してほしい</li> </ul> <p>まず、今回検討する以前の情報の、協議会委員での共有化についてですが、愛西市のホームページに今までの資料を掲載しております。協議会の中で情報の共有化をしたいということであれば、ご用意させていただきませんが、1回目の協議会の中でも前回の基本計画というのは、策定されておらず、提案という形で止まっており、今回新たに策定することになるので、これまでの基本計画の提案に至るものは必要ないと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>老朽化の現地視察の件については、委員の皆様のご都合のよい日程や時間をご提示いただけましたら、こちらで学校に連絡させていただき、調整したいと思います。できれば、現地視察は、8月中の夏休み期間中にお願ひしたいと思います。</p> <p>小中学校における地域利用と防災拠点の実態把握については、第1回の協議会のときに承認いただいております、地域の協議会に進んだときには、当然検討課題となると考えます。資料もその状況に合わせて作成させていただきます。</p> <p>ありがとうございます。愛西市全体の子どもの数を見て、考えていきたいと思っています。もちろん、地域コミュニティや防災拠点については、地域の協議会に移ったときに議論されると思います。しかし、現状把握は必要であると考えます。</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>(委員)</p>	<p>ご意見等ありますでしょうか。</p> <p>都市計画の資料を見ても立田、八開地区だけで統合するのは、人口減少の観点からもよくないものであると考えられます。</p> <p>検証委員会のために作成していただいた資料で佐屋地区、佐織地区は、駅や市街化区域があるので、ここ 100 年間は、子どもの数は変わっていないわけです。途中ベビーブームで一時的には増えましたが、100 年前と現在で子どもの数がほぼ一緒になっています。一方、立田、八開地区は、100 年間で 4 分の 1 まで減少していることがわかりました。ですので、立田中、八開中を一緒にするのは、考えとして間違っていると思います。</p> <p>まちづくりや防災のことについては、同時進行は難しいと思いますので、事務局より説明があったとおり、地域の方で後程進めていただければよいと思います。老朽化の問題については、教育委員会が主導と一緒に適正化と共に考えていく必要があると思います。学校施設は、100 年以上歴史を持った公共施設なので、ぜひとも長期的な視点に立って考えていかなければなりません。通常の事務のスケジュールでは、地域説明会に耐えられないと想像されますので、地域説明会に耐えられるような積み上げをしないといけません。したがって、9 月までに基本計画を策定というスケジュールになっていますが、私の感覚では、とても無理だと思います。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>老朽化に関しては、委員おっしゃるとおり、この協議会で検討していただきたいと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>それでは、資料 3-1 等を参考にして、できれば今日この会議で決めていきたいと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>委員の皆様ご意見等ありますでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>本日、統廃合の道筋をという話ですが、それは数字だけを見て数合わせするだけだと思いますが、老朽化対策というのは、学校を直すという形なのか、新しくつくるという意味も考えるということでしょうか。</p> <p>例えば、八開中なんかは、老朽化具合でいけば、まだまだ大丈夫ということですが、人数はダメだと思います。学校のキャパの問題もあると思います。適正規模の 9 クラスは、八開中に入るのでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>老朽化対策の方法は、新しく建てることも含まれると思います。また、</p>

	<p>躯体を残した状態で行う大規模な改修や、一番よい建物の状態であれば、長く使えるように維持管理していくことも老朽化対策になります。</p> <p>学校施設のキャパシティの問題について、資料を用意した方が検討しやすいようであれば、次回ご用意いたします。</p>
(会長)	<p>その時に統合案の 7 通りのキャパシティを考えるのは不合理だと思いますので、まずは、統合案をある程度絞った方がよいのではないかと考えます。</p>
(委員)	<p>数だけを見れば、おのずと結果が決まっているように思います。通学路の問題や他の問題も考えなければなりません、数字だけで決めてよいものでしょうか。</p>
(教育長)	<p>色々な課題がある中で、一番は、子どもの育ちや学び、いわゆる、発達段階に応じた学びや教育環境が大切となります。どこの校舎にするかは、子どもの安全安心にとっても大切なことではありますが、校舎の老朽化ありきで進めるのか、子どもが育つ環境をメインにするか悩ましいところではあります。しかし、老朽化は、公的資金を投入すればよいですが、子どもの学びについては、専門教科の教員が配置されないなどの問題が出てきます。ですので、子どもの学びを中心に据えていただきたいと思います。</p>
(会長)	<p>ですので、クラス数や人数が大切になってくるわけであり、それを数合わせと言ってしまうとそれまでなのですが、中学校の場合、専科教員が確保できるかという教育環境の整備の問題につながってくるので、クラス数、人数というのはすごく大事にしなければいけないと思います。</p>
(委員)	<p>私も会長の意見に賛成いたします。この協議会では、子どもたちの教育環境を整える上でどうするかを考えるのがメインだと思います。</p> <p>地域のコミュニティや防災拠点については、悪いけどもよそのところと考えてほしいと思います。子どもの人数が人的環境において大事だと思います。</p> <p>また、統合そのものに抵抗がある方が多いと考えます。海部地区は、学校が減るという経験をしてこなかった地域だと思います。統合した場合にどういったことが起こるか未知数だと思います。そういったことは、先進事例に学び、近隣自治体についても同様な問題が起きていると思い</p>

<p>(委員)</p>	<p>ます。そこからの情報共有も大事だと思います。</p> <p>前回は極論で言えば、FとGがよいだろうと述べさせていただきました。しかし、段階を踏むべきだろうと思っています。まずは、BとCで集約するとよいと思います。八開中の校舎は、まだ大丈夫ということですが、立田中や佐屋中は、待ったなしで建替えや大規模改修をしないといけない校舎の状況ではないかと思っています。合併した関係で国から補助金が出るだろうと思います。そのお金を活用しながら、新しく校舎を建て直す整備ができるかどうかも含めて、どの校舎をどうやって使っていくかも協議しないとけないと思います。立田中もダメで佐屋中もダメとなると、佐屋中の生徒を立田中に通わせるのは、現実的ではないので、申し訳ないけれども、立田中や八開中の生徒は、東の方の中学校の方へ統合し、通っていただく形を考えるのが普通だと思います。それをするにあたって、例えば、佐屋中を建て直すのに、いつまでお金が使えるのかを含めて、検討したいと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>ありがとうございます。お金の問題については、この7通りの内のいくつかをいつまでにどういう風にするのかを決めた後、そこまで検討してもらおうことになると思います。7通りの内、どれが一番安いかという議論は、あまりしない方がよいと思います。将来の子どものためなので、こういう形で教育を進めていくことを決めてから、お金の話をしていくべきだと思います。</p>
<p>(教育長)</p>	<p>最終的にどういう姿がよいのかという話ですが、愛西市内で現在99人の子どもがお生まれになっており、おそらく、年間で約300人になるだろうと考えます。300人を単純に2つに分けますと150人となり、中学校で言うと、理想の規模となります。しかし、佐織西中と佐織中では、老朽化度合が違います。佐織中は、まだ15年程度経ったばかりです。この佐織中が老朽化した場合、北に1校、南に1校というのが、見えてくると思います。BとCを段階的に行うのが、たたき台になると思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>FとGを考えた場合、大規模校が適正なのかを思いました。中学校を統合することを考えているのですが、その中学校区内の小学校にも影響があると思います。佐屋中だと、市江小、佐屋小、佐屋西小の3校だと思っていますが、その編制の組み替えや通学距離も考慮して考えなくてはならないと思いました。</p>

<p>(会長)</p>	<p>確かに通学距離というものは、考慮しなければなりません。しかし、まずは中学校を考えた上で、小学校の方を考えるとということになります。地域検討協議会でも議論していただく内容になると思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>学校での教育を受ける規模で言うと、FとGというのが適切なのかなと思います。通学距離が長くなると、交通事故に遭うリスクは、増えますし、女の子の場合、犯罪に遭う可能性も高くなると思います。皆さんの知らないところで色々な事件があることを私自身把握していますので、その辺も考慮しつつ、安心、安全も含めてそういったところも確認していただければと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>統合したときに数合わせだという意見や地域がどうなるかありますが、地域に説明するときに大事な部分は、子ども中心であることをどこかに加えておかないと後が続かないと思います。地域からいろんな意見が出てくるとはありますが、大事なことは、社会が変わっていることを認識しなければいけません。5年前にこれからの教育はこうなるということによって指導要領が変わっているわけです。実際に学校で行われているわけです。それから、来年閣議決定されますけれど、20年後の社会はこうなるから教育はこうしなければというのが出てきます。数合わせではありません。子どもが社会に出て一人前になって、他の人たちと競合できるように、子どもたちのために統合は避けられない、老朽化もあることをメインに出していかないといけないと思います。学校現場は、ICT教育とか、ものすごく変化しています。地域に説明するときに困ると思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>学習指導要領が変わって、教える内容が変わっているということでもあります。5年10年先にもしかすると、小学校も専科教員制が導入されるかもしれません。</p> <p>先程、最終的には、FとGだけでも、段階的にBとCでという意見がありました。それについてご意見等ありますでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>八開地区は、学校をなくすなと思っているかもしれませんが、教育長がおっしゃったとおり、子どもの教育のためには、仕方がないと思っています。保護者からすると、学校は近いに越したことはないです。段階的にはよいかもしれませんが、急にやるのはよくないと思います。子どもの教育に関することも大事ですが、子どもの安全にも目を向けていただきたいと思います。統合を考える際には、しっかりと議論していただ</p>

<p>(会長)</p>	<p>きたい内容だと思います。</p> <p>通学方法についても案をある程度絞れたら考えないといけないと思います。</p> <p>他にご意見等ありますでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>この案の中でどれが最善かどうかと聞かれると、小規模ではなく、適正規模に近づくようにと考えるとBからGのどれかだと思います。</p> <p>私は、適正規模が子どもにとって、適正だと思っていません。小規模だとしても、1校1校残して、なるべく近くの中学校に行けるように残すという手段がよいと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>今のご意見がたくさんあると思います。また、地域の方が学校を大事にしたいというのはあると思います。ですので、社会が変わっているのを大きく出さないと、中学校の後の小学校でもまた、つまづいてしまいます。</p> <p>それから、今、子どもを育ててみえる親御さんが見えると思います。親御さんには、20年後にどうなった社会に子どもが出ていくのかを説明すべきだと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>前回の資料 5 を見ていただくと、未就学児の数字が出ています。このデータを真正面から見る必要があると思います。1歳児以上は、ほぼ数が確定だと思います。その子たちが中学生になって集まってきたときに12、13年後には、どうなっているかが想像できると思います。そうすると、やはり適正規模を目指していくのは必要だと思います。小学校は、一人の先生が色々な科目を教えることができます。中学校は、専門の科目を先生が教えるわけです。ある程度の学級規模は必要だと思います。立田、八開をそうした形で維持していくとなると、愛西市全体で子どもの教育を考えた場合、説明ができるかどうかハードルになると思います。</p> <p>前回の資料 2-4 を見ると、小学校の話なので、まだ議論は先になりますが、2028年には学年で9人、3人という学校が出てくるわけです。ここで、複式にならざるを得ないとなると、ここが、小学校の統廃合を考える上での基準年度と考えてよいと思います。この事態だけは、避ける必要があると思います。</p> <p>では、中学校の議論でBとCの統合案、最終的にFとGの統合案についてご意見等ありますでしょうか。</p>

(委員)	<p>BとC案について賛成いたします。愛西市は、6万人の自治体で、同等の自治体でいくと、隣接の津島市があると思います。津島市は、4校中学校があり、愛西市において6校を統合するとなると4校程度になるのがよいと思います。</p> <p>また、愛西市の市域の形がいびつな形になっており、保護者も心配になる要因の一つだと思います。北に2校、南に2校であれば、3kmから4kmの範囲だと思います。ちょうど時間がありましたので、家が立田中学校の近くなので、佐屋中学校までどのくらい自転車にかかるか試してみたのですが、18分程度でした。中学生ならもう少し早く行けるかもしれませんが。遠いところでも30分程度で行けるのではないかと思います。30分の範囲であれば、通学の範囲内かなと思います。</p> <p>教育の中身については、先生方のおっしゃる通りだと思います。立田と佐屋中が統合したときには、仲良く一緒になってほしいと思います。そういった環境も整えていただくとよいと思います。</p>
(会長)	<p>ありがとうございます。他にご意見等ありますでしょうか。</p> <p>事務局には、次回までに通学距離の問題とかを用意していただきたいと思います。例えば、B案で行く場合は、現在の機能としてコミュニティの役割としてどういうものがあるのか。それから防災拠点の役割は、調べていただく必要があると思います。それを踏まえて、次のステップへの議論をしていきたいと思います。</p> <p>最終的にFとGが時期尚早ということであれば、BとCで老朽化の度合い、防災の機能、通学距離をどうしていくのかというのを検討していきたいと思います。</p>
(教育長)	<p>今、BとC案という流れになっていると思います。仮にこの会の結論となった場合、Bの佐屋中と立田中には、問題もございません。一つは佐屋中、立田中は、老朽化の度合いが大きいところになります。佐屋中に通う佐屋小も同様であります。また、立田中に進学する、立田南部小、立田北部小も同じ年代に建てられています。仮にはあります、理想は、佐屋中を更新して、立田中の生徒を合流させるのがよいと思いますが、もし、立田中を現状の佐屋中に合流させることができれば、立田中もリニューアルをし、立田南部小と立田北部小を統合させて、立田中の場所で新たな立田の小学校で教育を行うという方法もあると思います。そこには、立田中の生徒をいつ移動させるかの問題が出てくると思います。また、委員がおっしゃっていた、国からの補助金も絡んでくるかと思っております。</p>

<p>(会長)</p>	<p>永和中学校についても数年後には、過小規模校になってくると思いますが、愛西市の中で唯一1小学校、1中学校でありますので、小中一貫校という見方もあると思います。</p> <p>今の発言について一度シミュレーションしていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>他にご意見等ありますでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>佐屋中に立田中を合流させるタイミングですが、同時に佐織西中に八開中を合流させるタイミングは、合わせた方がよいと思います。そうすれば、立田中のところに立田の小学校を、同じように八開中の場所に八開地区の小学校を統合できれば、八開地区の小学校の学校規模も少し大きくなって、第一段階としてよいような気がします。立田と八開のタイミングをあまりずらすのはよくないと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>この先そういったことを考えていかなければならないと思いますが、まずは、中学校を中心に決めていきたいと思います。</p> <p>今日のある程度の方向性についてBとC案で進め、FとG案が最終形という形でBとC案について詳細なデータをいただき、具体的に進めていきたいと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>永和地区についてですが、当然方向性が決まったとしても、社会情勢や人口が変わってくると思いますので、付帯事項という形で表現し、検討していただきたいと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>ある程度の方向性をここで決めて、さらなる詰めを地区協議会で議論していただく形になると思いますので、ここでの議論は次に進めさせていただきますと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>BとC案の方向性がよいと思います。しかし、BとC案についても変化が出てくると思いますし、委員がおっしゃってみえたように永和地区については、交通の便がよい面もありますので、人口の変化があり、難しいと思いました。佐織中と佐織西中の問題もあると思います。</p> <p>この場としては、まずこの案で行くということを決めて、付帯事項も付けながら進めていければと思います。また、まずは、適正規模をということを考えないと先に進んでいかないと思います。これから先に色々な問題が出てくると思います。立田だと南北に広いので、全て佐屋中に</p>



	<p>行けるのかどうかもあるので、今までの学区の編制についても考え直す必要があると思います。</p> <p>住民の方が納得いく説明は難しいかもしれませんが、なんとか私達の力で住民に説明をして理解を得ていく必要があると思います。</p>
(会長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>次回の議論に向けて、BとC案について少し具体的な資料を作っていたら、そこには、小学校に話も少し絡んでくるかと思いますが、議論を進めていきたいと思っています。</p>
(事務局)	<p>次回の資料について、確認させていただきます。</p> <p>BとC案を想定して、学校の配置、通学距離、今学校が持っている地域の機能、老朽化の状況やキャパシティ、でよろしいでしょうか。</p>
(会長)	<p>先程のお話にもありましたとおり、小学校も絡んでくると思いますので、統合した場合の位置等について資料の準備をお願いします。</p> <p>では、このような形で資料等を作成いただき、議論を進めていくという形でよろしいでしょうか。</p>
(委員)	<p>《異議なし》</p> <p>では、(3) その他について事務局よりなにかありますでしょうか。</p>
(事務局)	<p>今回は、令和4年9月5日(月)午後2時から予定しておりますので、よろしくをお願いします。</p>
(会長)	<p>ありがとうございます。委員の皆様、他にご意見等ありますでしょうか。</p>
(委員)	<p>前回の会議の中で必要な修繕はやっていくというお話でしたが、学校から声が上がったら、予算を組む方式なののでしょうか。何も言わなかったら、修繕しないのでしょうか。第三者から見て、ここは直すべきという意見を言える場所はあるのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>修繕に関してですが、原則学校からの修繕要望や保守委託をしておりますので、業者から点検報告書をいただき、直すべき箇所というのは、対応させていただいております。ただ、愛西市内で18校ありますので、</p>

	<p>全体の予算の範囲内で修繕をしております。緊急の場合は、補正予算等を上げさせていただいております。第三者からということから言えば、ご連絡をいただいた際は、学校に確認いただき、これはというものであれば、こちらにフィードバックしていただいて、次年度になる場合もありますが、修繕の検討をさせていただいております。</p> <p>(委員) 遊具等も使用禁止のものが多くあると思いますので、予算の関係で先延ばしになっている案件もあるかもしれませんが、対応いただきたいと思っております。</p> <p>(会長) それでは、本日の会議を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p> <p>4. 閉会</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------